



学校の勉強は役に立つのか？とはよく聞く質問です。生活には関係ないと思われる学習内容でも、知識や考え方を応用することで役に立つと思います。例えば人間力の向上に対して素因数分解の知識が役に立ちます。さて、どのように考えれば良いのでしょうか。

素因数分解で人間力を高めよう

6を素因数分解すると 2×3 となりますね。つまり6には2の性質と3の性質があることがわかります。2と3は異質なものです。ところが、この異質な2つの数を掛けて6という新しい数ができるとき、2は新しく3という性質を獲得することができるのです。同様に3も2という性質を獲得することができます。2も3もこれまでの自分自身の性質に加えて掛け合った相手の性質を獲得して新しい6という数になったのです。

一方、4を素因数分解すると 2×2 となります。このことから4には2の性質しかないことがわかります。同じ性質同士を掛け合わせても新しい性質を獲得できないのです。

この関係は、人と人との関係でも同じだと思います。同質な人と交流しても新しいものを得ることができず、異質な人と交流することで自分にはなかった新しいものをお互いに得ることができるということです。同質な人とは息が合いやすいのですが、良い方向に向かうときも悪い方向に向かうときも深く考えずに進んでしまいやすいものです。しかし、異質な人とは一端お互いの考えを理解しようとすることで自分が気づいていなかったことに気づき、よく考えてから進めることができるでしょう。それぞれ一長一短はありますが、異質な性質を獲得することで自身の能力が高まることは納得できると思います。

学校での勉強が役に立つのかどうかは、みなさんの活かし方で決まります。この勉強が何の役に立つのかな？と感じたとき、置換力を活かして役立てる方法を考えてみてください。

月末には米工祭が開催されます。準備をする中でいろいろな人と協力し、お互いが自分にはなかった考えや魅力を獲得してください。米工祭をとおして米工生の人間力が一段と向上することを期待しています。



校長 松川 明義

【行事予定】9月21日(水)~27日(火)：40分授業×6限+7限LHR(学校祭)
いよいよ来週は学校祭だ！

今週末の大会等：テニス西部地区新人戦(東山)、



米工HP